



# 心ひとつに

校訓「心ひとつに 明日を拓く」  
教育目標「気づき、考え、行動する生徒の育成」

美郷町立美郷中学校  
令和6年2月9日  
文責：校長



\* 本校ホームページ→



第2回学校評議員会

2月7日に、本校学校評議員の〇〇〇〇様(六郷高校校長)、〇〇〇〇様(小西合名会社代表)、〇〇〇〇様(六郷小学校PTA会長)をお招きして、学校評議員会を開催しました。今回は、学校の「自己評価」結果について、評議員の方々からさらに評価いただくことで、客観性と透明性をもたせることを目的としていました。始めに校長が、今年度の学校経営の成果や課題、県学習状況調査結果等を説明し、続いて教頭が「第2回学校活性化アンケート結果(生徒・保護者・教職員)」について報告した後に、総合的な評価をいただきました。保護者の皆様にご協力いただきました「学校活性化アンケート」結果や学校評議員からいただいたご提言等は、別紙にてご報告いたします。

## 脱スマホで目標達成を目指そう!

後期後半がスタートして3週間になりました。体調を崩す生徒の中には、睡眠不足が影響している生徒もいるようです。夜型生活の要因の一つにSNSの利用が考えられます。

令和3年の夏に行われた東京オリンピックの競泳女子200mと400mの個人メドレーで、日本女子史上初の2冠を達成した大橋悠依選手の成功の陰には「脱スマホ作戦」があったと言われていています。初出場した前回大会では200m個人メドレーで銀メダルを獲得したものの、メッセージの返信等でスマホをいじり続けていたことが影響してか、期待されていた400m個人メドレーは4位に終わってしまったようです。そのため、大橋選手は、この反省を生かして東京オリンピックでは、ゲームはもちろん、SNSの通知も切るなどの自己管理をしっかりと行って臨んだとのことでした。逆に、同じ東京オリンピック体操女子個人総合で金メダルを獲得したスニサー選手は、種目別段違い平行棒で銅メダルに終わった要因として、「SNSのやりすぎだった」と反省し、ツイッター(現X)を削除する意思を示したとの報道がその時ありました。



今年度を締めくくる1・2年生の後期期末テストと3年生の最後の実力テストまではあと12日、公立高等学校の一次募集学力検査までは25日となりました。大橋選手のエピソードからは、何を大切に、優先順位をどう定めるかを正しく判断して目標に臨むことの重要さが伝わってきます。コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症対策も油断できない状況にあります。睡眠時間の確保やバランスのよい食事など、規則正しい生活を送ることで、体調管理にも最善を尽くしたいものです。

## 新入生保護者説明会



1日、来年度入学する第15期生の保護者説明会を行いました。本校の1年間の様子を月ごとにまとめた映像と校長の挨拶に続き、各担当者から中学校生活や学習についての説明をしました。部活動の紹介の中では、大曲仙北中体連からの依頼を受けて、「中学校総合体育大会における参加資格の緩和について」の資料の読み合わせを行い、参加区分決定書の手続きの在り方なども説明しました。希望を膨らませて、入学してほしいと思います。

## PTA授業参観日

◇ 期日 2月13日(火)

\* 今年度最後です

◇ 14:00~14:50

授業参観 各教室

\* 1年3組は音楽室

◇ 15:05~16:00

学年懇談

1年生 視聴覚室

2年生 技術室

3年生 体育館



\* 生徒玄関ホールに雛人形を、体育館には1年生の天筆を飾っておりますので、是非ご覧ください。